

結成40周年 — 広島県の男女共同参画をすすめる会がお贈りする映画祭 —

ノーベル平和賞受賞スピーチで世界を感動させたサーロー節子。彼女の原点とは——？

ヒロシマへの誓い

—— サロー節子とともに ——

the VOW from HIROSHIMA

ノット・イン・スモーク・サバイバー・フィルム・プロジェクト

サーロー節子 / 竹内道

エグゼクティブ・プロデューサー: デビッド・ジューズ、ダン・タニ / プロデューサー: スーザン・ストリックランド、竹内道

監督: スーザン・ストリックランド / 共同ライター: ルネ・シルバーマン、ピーター・ミラー / 撮影: ジェニファー・ハーン / 編集: ジャッド・ブレース / 音楽: グラス・クレイン / ナレーション: 竹内道

2019年、アメリカ映画 第91回 2019 Not Just a Survivor Film, LLC

公式ホームページ <https://ja.thevowfromhiroshima.com/>

東映文化
Toei Culture Center Foundation

クリーブランド
国際映画祭
2020年
ワールド・プレミア作品

2019年
オーハイ・
ドキュメンタリー
映画祭
観客賞受賞

語り続けることが、私の使命。

令和3年

9月23日 (木)

秋分の日

13:00

開場・受付開始

13:55~14:00

開会挨拶

14:00~15:22

映画上映

15:22

謝辞・閉会挨拶

広島県民文化センターホール

(広島市中区大手町1丁目5-3 TEL 082-245-2311)

お問い合わせ / 広島県の男女共同参画をすすめる会 TEL 080-1913-3557 (佐藤) (10:00~16:00 平日)

E-mail d5d3m5@bma.biglobe.ne.jp (西中)

「同情は求めています。
人々に行動してほしい。
そのために私は
語り続けるんです。」

——サーロー節子



2021年核兵器禁止条約発効が実現する！ その大きな原動力として世界で最も尊敬される女性となったサーロー節子の原点を探ったドキュメンタリーがついに登場した。13歳で被爆しその後の人生の大半をカナダで暮らし核兵器撲滅のための活動を続けるサーロー節子と、広島出身で被爆二世であるニューヨーク在住の竹内道が出会った時からその旅は始まった。二人は偶然にも広島女学院の卒業生同士。原爆投下の朝、節子は広島で何を見たのか、その後の彼女の人生がどう変わっていったのが本作品のプロデューサーでありナレーターを務める道の眼を通じて紐解かれていく。それは、道にとっても被爆二世である自身の真実を見つける旅となるのであった。

監督は全米の優れたテレビ番組に送られるエミー賞や全米監督協会賞を受賞しているスーザン・ストリックラー。撮影は2015年から4年をかけて、ニューヨーク、広島、トロント、オスロで行われた。クライマックスは2017年12月、ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)が受賞したノーベル平和賞の授賞式で節子が行ったスピーチ。何十万の被爆者の声を代表して話す節子の言葉のひとつひとつには、亡くなった最愛の家族や級友達への誓いが込められ、圧倒的な迫力で見守る者の胸を揺さぶる。



廃墟の中の日赤病院(1945年) 写真提供 © 菊池俊吉



the VOW from HIROSHIMA



サーロー節子 | 広島女学院高等女学校在学中に生徒動員先にて被爆。1954年にアメリカのリンチバーグ大学に留学。カナダ人のジム・サーローと結婚しカナダのトロントに移住する。1965年よりソーシャルワーカーとして活躍しカナダで最高の名誉であるカナダ勲章を受章した。世界各地にて英語での被爆証言活動を続けICAN発足当時よりICANを代表して国連や国政会議にて被爆者としての体験を語り多くの人に影響を与えている。

竹内道 (プロデューサー) | 広島女学院高校卒業後心理学を勉強するために渡米。ワグナー大学心理学部卒業後当時の電通アメリカ(DCA)に入社。1988年、アークメディア(Arc Media, Inc.)を設立。アメリカ市場における日本企業の事業の立ち上げを支援してきた。2010年4月より国連NGO, Youth Arts New Yorkに参加。祖父竹内紹は広島日赤病院初代院長時に被爆。母竹内孝子は入市被爆をした。

<https://ja.thevowfromhiroshima.com/>

2019年/アメリカ映画/82分 ©2019 Not Just a Survivor Film, LLC

鑑賞料金 1,000円 全席自由

前売り鑑賞券を、エディオン広島本店
プレイガイド(東館9F)にて発売中!

※コロナウィルス感染症拡大防止対策のため、お買い求めいただきましたチケット半券(表面・右側)へ、お名前と電話番号をご記入のご協力をお願いします。

..... 映画をご覧いただいた方のコメントです

サーローさんの人柄や人生も垣間見える素敵な映画です。多くの外国のかたにも見ていただきたいです。
広島女学院高校卒業生 岡崎 裕美

サーロー節子さんの力強く、心うつスピーチに感動! しかも、88歳にしてチャタリングで若々しい。竹内道さんとの出逢いも運命的です。
映画コンテナー 三浦 ひろみ

サーローさんの言葉がきっかけとなり、カクワカ広島(核政策を知りたい若者有権者の会)を立ち上げた。そしていま発効に向けてのキャンペーンに動きはじめています。あきらめない力をもらえる力の源になる映画です。
ハチドリ會 店主 安彦 恵里香

※ご来場の際はマスクの着用・消毒にご協力ください。

※発熱や咳・咽頭痛等の症状がある方や、2週間以内に感染拡大している地域や国へ訪問歴がある方はご遠慮ください。



——安心して映画をご鑑賞いただくため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。——